科目コード:21760

講義科目名称: メディアアート2 D4-C33-30

英文科目名称: Media Art 2

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分
3年前期		3	2	選択
担当教員		I	l	
伊藤 明倫				
添付ファイル				
, , ,				
講義概要	には、科学 ティブデサ フィックラ	さとアートの関 デインについて デザイン分野・	係について、ハ など、具体的な メディアアート	まえて、より深くアートの表現と考え方について考察していく。具体的イブリッドアートについて、新しい問題提起型デザインのスペキュラ 事例を見ながら考察し、作品制作も進めていく。この科目は、グラ 分野の実務経験のある教員が担当する科目である。 の実務経験のある教員が担当する科目である。
授業計画	1	ガイダン		
	2	スペキュ オラファ 準備学習 AL①	ラティブデザイン ーエリアソン「現 : オラファーエリ	/ 見象のアート」/映像鑑賞とレポート リアソンについて調べておく。
	3	メディア		と作品構想/次回ローテーション課題説明 ティストを1人or1組選び、各自で調べておく。
	4	グループリ		テーマに沿った作品制作を行う。 ではmacを使用するので、macの操作基礎を各自で調べておく。
	5	ローテーミ グループ(テーマに沿った作品制作を行う。 では実際に図形を描いてもらうので、必要なペンや鉛筆を用意して
	6	ローテー: グループ(準備学習 おく。		テーマに沿った作品制作を行う。 実際に撮影してもらうので、スマホのカメラの使い方を各自で調べて
	7	グループに準備学習	: フィールドワー	テーマに沿った作品制作を行う。 −ク課題では、実際にキャンパス内をフィールドワークしてもらうの 毎設を把握しておくこと。
	8	バイオア- デザイン、	makersムーブメ	メントについての映像鑑賞とレポート メントとは何か調べておく。
	9	ビジュア/ スペキュラ 作品につい	ハて/作品制作	グ言語体験 /について・問題解決と問題提起・様々なスペキュラティブデザインの ィブデザインについて調べておく。
	10	映像鑑賞。 映像と編集	- 集について/絵=	コンテ作成 は何か調べておく。
	11		アート映像鑑賞と	ヒレポート/次回ローテーション課題説明 ティストを1人or1組選び、各自で調べておく。
	12	ローテー: グループ(ンョン課題2-1 こ分かれ、4つの [・]	テーマに沿った作品制作を行う。 ではmacを使用するので、macの操作基礎を各自で調べておく。
	13	グループリ		テーマに沿った作品制作を行う。 では実際に図形を描いてもらうので、必要なペンや鉛筆を用意して
	14	グループリ		テーマに沿った作品制作を行う。 実際に撮影してもらうので、スマホのカメラの使い方を各自で調べて

	15 ローテーション課題2-4			
	グループに分かれ、4つのテーマに沿った作品制作を行う。 準備学習:フィールドワーク課題では、実際にキャンパス内をフィールドワークしてもらうので、大学敷地内の建物や施設を把握しておくこと。			
授業形態	講義と演習 アクティブラーニング:①:3回,②:0回,③:1回,④:8回,⑤:0回			
達成目標	現代のアートやデザインには、メディアアートを含む多様な表現が存在し、様々なジャンルとボーダレスに 繋がり、未来への問題提起をしている事が理解できること。			
評価方法・フィー ドバック	出席、レポート、課題によって評価。原則として、レポート・小テスト等のフィードバックは次回以降の授業 内で実施する。			
評価基準	秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)			
教科書・参考書	なし			
履修条件	アートやデザインに興味・意欲のある学生			
履修上の注意	なし			
準備学習と課題の 内容	多様な視点で考察する能動的姿勢と、制作への積極的参加ができるようにしてください。毎回、予習復習それ ぞれ1.5時間程度。			
ディプロマポリ シーとの関連割合 (必須)	知識·理解:20%, 思考·判断:20%, 関心·意欲:30%, 態度:10%, 技能·表現:20%			
DP1 知識・理解				
DP2 思考判断				
DP3 関心意欲				
DP4 態度				
DP5 技能・表現				